

（対象国：メコン5ヶ国，テーマ：社会・文化）の記録

1. プログラム概要

「対日理解促進交流プログラム」の一環として、メコン5カ国（国）より社会・文化に関心を有する社会人55名が来日し、日本の政治、社会、歴史及び外交政策に関する理解促進や、日本の魅力等の積極的な発信を目指し、8月27日から9月2日までの6泊7日の日程でプログラムを実施しました。

2. 参加国・人数

カンボジア11名、タイ11名、ベトナム11名、ミャンマー11名、ラオス11名

3. 訪問地

東京都、千葉県、宮城県

4. 日程

8月27日（木） 成田国際空港より入国、来日時オリエンテーション

【日本理解講義】（拓殖大学国際学部 赤石 和則 教授）

8月28日（金）～9月1日（火）3つのグループに分かれ、各地方を訪問

1. グループA（カンボジア・ベトナム）：東京都・千葉県

【視察】女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム（WAW!2015）オープニングセッション／ハイレベルラウンド・テーブル、江戸東京博物館、国会議事堂、明治神宮

【自治体表敬・交流】鋸南町、議場見学、道の駅保田小学校、民泊

【文化体験】浮世絵体験

【自然】鋸山

【歴史文化視察】菱川師宣記念館、日本寺

【地域産業】三井化学株式会社市原工場・保育所

2. グループB（ラオス）・C（ミャンマー・タイ）：宮城県

【自治体表敬】南三陸町

【地域概要紹介】南三陸町講義

【地場産業】南三陸石けん工房、石巻復興支援ネットワークやっぺす講義、南三陸復興ダコの会 講義と体験

【歴史的建造物視察】松笠屋敷「ひころの里」、「ばっかり茶屋」

【学校交流】石巻専修大学

【文化体験】「石巻に恋しちゃった♡」ワークショップ・絵手紙づくり、まゆ細工体験、きりこ体験、八幡川かがり火まつり福興市

【日本語コミュニケーション】南三陸さんさん商店街

【交流】石巻市住民との昼食交流会(石巻市)

9月1日(火) 地方プログラム終了後、東京へ移動

報告会(訪日成果・帰国後活動計画発表)

9月2日(水) 成田国際空港より出国

3. JENESYS2015 プログラム記録写真

グループA:カンボジア・ベトナム(女性・政治)の記録



8/28【視察】女性が輝く社会に向けた国際シンポジウム(WAW!2015)(東京都)



8/28【視察】国会議事堂(東京都)



8/30【文化体験】浮世絵体験(鋸南町)



8/31【自治体表敬】鋸南町(鋸南町)



8/31【視察】道の駅保田小学校(鋸南町)



8/31【地域産業】三井化学株式会社市原工場
保育所(市原市)

グループB：ラオス（地域振興・企業家造成）の記録

グループC：タイ・ミャンマー（日本語・日本文化）の記録



8/27【日本理解講義】意見交換（拓殖大学国際学部 赤石 和則 教授）（東京都）



8/28【自治体表敬】南三陸町講義（南三陸町）



8/29【地場産業】南三陸石けん工房（南三陸町）



8/29【地場産業】南三陸復興ダコの会 講義と体験（南三陸町）



8/29【文化体験】きりこ体験（南三陸町）



8/29【文化体験】八幡川かがり火まつり福興市（南三陸町）



8/29【歴史的建造物視察】松笠屋敷「ひころの里」(南三陸町)



8/30【交流】石巻市住民との昼食交流会(石巻市)

4. 参加者の感想

◆ カンボジア 社会人

日本人の親しさ、礼儀正しさ、対応、おもてなしに感銘を受けました。WAW 2015 の参加を通じて日本における女性の社会参加の推進、そして人類の共通の課題である子どもの思春期の問題解決に向けて世界全体が協力して対応する必要があることを理解することができました。本プログラムは、日本の状況を理解するだけでなく、参加するメコン 5 か国との交流を深めることができると共に各国が抱えている諸課題の共有もできました。また、プログラムを通じて日本人の家に宿泊し、日本の素晴らしい伝統文化や食事を知ることができました。千葉県鋸南町において歴史ある博物館を見学し、浮世絵（見返り美人）の体験をしました。地域活性化のため廃校になった保田小学校を商業施設にするための改修工事が進められていました。また、三井化学工場訪問の他、快適な気候、素晴らしい景観、衛生的な環境、伝統舞踊や着物等の日本文化を体験し、日本に対する理解を深めることができました。

◆ ベトナム 社会人

プログラムに参加し、日本人が強い意志や弛まぬ努力で国を変えてきた事が、最も印象に残りました。第二次世界大戦以来、日本は世界有数の大国の一つに成長しました。この努力するという国民性は鋸南町で出会った人々の中に現れていました。町役場や住民が具体的な行動計画を通じて町に多くの観光客を誘致するように奮闘しています。ベトナムに帰ったら、私は鋸南町のことを皆に話し、地域の大きな事業を開始する前に、人々の環境保全や伝統文化の価値観に対する意思改革を呼びかけたいです。同時に、日本の景色、日本の和食なども Instagram にアップロードし、できるだけ多くの人に共有したいです。

◆ ラオス 社会人

私は今回のプログラムで 3 つのことに感心を持ちました。

1. 文化については、100 年以上前の行事や建物を大切に守り続け、新しい文化とバランス

よく溶け合っています。

2. 経済については、住民に職業を与えるために、その地域にたくさん持っている資源を活かした特産品を作っています。作られた商品は日本全国に「地域名産」として販売しています。
3. 生活基盤については、若者が地域で生活できるように新しい企業を立ち上げたり、被害を受けた建物を建て直したりしています。そのため、大震災の前の生活より安全かつ良い生活環境を生み出すことができます。

◆ミャンマー 社会人

私にとって今回の訪日は初めてでした。来日前、日本に対する一般的な知識しか持っていませんでした。日本は技術が進歩していて先進国であるという程度でした。他に伝統文化に関しても少し勉強したことがあるのですが、実際来日してからは、技術が進歩している一方で、日本人が伝統文化を守っていることを知りとても驚きました。

帰国した際には、周りに伝えたいことが沢山あります。その中でも特に、私達が訪問した地震や津波の被害を受けた地域のことや大きな自然災害を受けたにもかかわらず、復旧・復興できるように政府、地元の国民が一丸となって頑張っていることをミャンマーの国民が見習えるよう伝えて行きたいと思っています。政府が資金面の援助をし、国民自身が、元の生活を取り戻せるように努力していることは素晴らしいことだと思います。ミャンマーもしばしば自然災害が起こりますのでこれらの知識を皆に共有したいと思っています。

◆ タイ 社会人

多くのことに感銘を受けましたが、特に以下の5点から地域の人々の「心と手をつなぎ協力する」ことについて考えさせられました。

1. 政府の援助を受ける前に、地域で協力して心の回復のための活動を自ら実践している。
2. 地域で能力のある人、退職後の高齢者の活動を推進し、寂しさを改善している。
3. 切子や絵手紙などの活動を行うときも、その歴史を事前に説明し、より理解が深まるようにしている。
4. 地域の産業や農業を生かして観光を推進することで、地域住民が協力して地域の経済と社会の復興を行っている。
5. 地域住民を尊重している。例えば新たな建築物を作る場合、元の土地所有者の許可を得るなどしていました。

これらのことを帰国後、自分の生徒たちや同僚の教師たちに伝え、タイの「地域の知恵」を思い起こしてほしいと思います。タイ人も地域の知恵を生かすことで、地域の高齢者の心のケアになり、また雇用の機会も増やすことができるでしょう。そこに若者が参加し、市・町・村の各レベルの販売拠点を作り、宮城県と同じように、地域の収入の増加や観光開発などにつなげることができるのではと思います。

5. 参加者の帰国後の発信内容

SHARE ❖ Action Plan - Share experience/lesson learn to Ministries and Institute - Facebook (Personal, JENESYS 2015 - Cambodian team page, MoWA Facebook page, and CICC Biz Training Networking group) - Report to respective ministries (within the following weeks) - Share with Youth Networks through presentation session in (Dec) - Share with our department for monthly meeting (Sep-Oct) - Share with family and friends as soon as we arrived 	WHAT WE ARE GOING TO DO - Sharing our experiences with our family, friends and colleagues (11 members from central to local governmental units and enterprises) - Applying what we have learnt during the program to our work and life when we came back to Vietnam - Implementing environment protection program
アクションプラン(カンボジア)	アクションプラン(ベトナム)
Group B – LAOS Actions plan : Social medias JENESYS – LAO SME 2015 https://www.facebook.com/jenesyslaosme2015 #jenesys2015  JENESYS2015 JENESYS – LAO SME 2015	Action Plan For Victims - Share With Social network Such As Facebook, Twitter, etc... - Share With Colleagues, Friends And Students - Share With Flyers - Join in Volunteer Activities
アクションプラン(ラオス)	アクションプラン(ミャンマー)
* P = Plan and Write project * D = Invite a local wisdom etc. * C = Evaluate Program * A = Adapt and Apply the evaluation to Maekong 5 countries * Social activity and culture adults 1st Batch	August 29 at 10:48am Enjoy photo-shooting @ #WAWI for All World Assembly for Women in #Tokyo 2015 
アクションプラン(タイ)	Facebook 発信